

平成24年度 第3回村上地区地域審議会 会議録

- 1 開催日時 平成25年3月13日(火) 13:30～15:45
- 2 開催場所 村上市生涯学習推進センター
- 3 出席委員 板垣藤生、吉田雅博、山口治雄、磯部幸雄、鍋倉静雄、
長 昭榮、本間正良、佐藤久也、南波 恵、佐藤芳男
- 4 欠席委員 石井秀逸、菅原美知代
- 5 出席職員 (事務局) 自治振興課；佐藤課長、木村課長補佐、
倉松副参事、富樫係長、五十嵐主査、
林主査、渋谷主査、菅原主任
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議次第 別紙のとおり
- 8 会議経過 別紙のとおり

平成24年度 第3回 村上地区地域審議会 会議次第

日 時：平成25年3月13日（水）

午後1時30分～

場 所：村上市生涯学習推進センター

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

（1）村上地区が抱える課題や推進すべき事項について（まとめ）【資料1】

（2）課題を解決するための具体的な方策（案）【資料2】

（3）その他

4 その他

5 閉 会

会 議 経 過

1 開会 (13:30)

【配付資料の確認】

事務局； 定刻となりましたので、ただ今から第3回村上地区地域審議会を開催します。

会議を開会する前に、せっかくの機会ですので、3月から供用開始となりました村上市生涯学習推進センターの中をご覧いただき、担当の生涯学習課社会教育推進室加藤副参事から説明をお願いしたいと思います。

【館内見学】

事務局； それでは、ただ今から開会します。本日は、石井委員、菅原委員から欠席の連絡をいただいております。

初めに、板垣会長からごあいさつを申し上げます。

2 あいさつ

会長； ごめんください。

今日はこの前欠席された方も出席されて大変うれしく思います。課題もだいぶ整理できましたし、平成26年度きちんと答申が出せるように整理したものを基にして、どんどんよい案を出していただきたいと思います。よろしくをお願いします。

事務局； ありがとうございます。

それでは、早速議事に入りますが、協議書の第6条第1項に基づき、会長が議長となりますので、よろしくお願いたします。

3 議事

(1) 村上地区が抱える課題や推進すべき事項について(まとめ)

(2) 課題を解決するための具体的な方策(案)

会長； (1)「村上地区が抱える課題や推進すべき事項について」と(2)「課題を解決するための具体的な方策(案)」については、関連がありますので、一緒に審議したいと思います。ご了承願います。それでは事務局から説明願います。

事務局； 【「村上地区が抱える課題や推進すべき事項について」【資料1】及び「課題を解決するための具体的な方策(案)」【資料2】】により説明】

会長； 大変難しい話しではありますが、まず(1)(2)併せて質問がありましたらお願いします。

資料1のほうはみなさんから出していただいたものを整理してということで簡単な説明でありました。それをふまえて、資料2でこういう方策を提案しております。具体的な方策の6項目について、これでいいのかはつきりさせていただきたいということです。

- 委員； 子育て支援の項目はどこにありますか。
- 事務局； 子育て支援につきましては、働くための環境整備のところに、子育て世代に対する補助などが考えられないかということで入れました。
- 委員； 大きい枠の中に入れたほうがいいと思います。
- 会長； 大きい枠というのは、6項目の中に子育て支援というのを入れるということですか。
- 委員； そうですね。
- 会長； 人口の減少を一番注目して考えていくべきということからすると、示唆していると思います。ご意見として聞いておいて、後で協議しましょう。
- 質問は、ほかにございませんでしょうか。課題や推進すべき事項として整理したところには、暮らしの維持・継続、雇用の確保、子育て支援をまとめて働くための環境整備というふうに大きな見出しにしています。具体的な方策の方には、どこに入るのかははっきりしないです。
- もう一つ、資料1の黄色の部分はどういう観点でまとめたのでしょうか。われわれが出した具体的な課題を整理するためにこういう見出しでまとめたというのは、まとめるときの考え方はあったということでしょうか。
- 事務局； 特にルールというものは設けておりませんが、関連がある項目ということで、まず空き家の問題、次に今ほどご意見がありました子育ての問題、暮らしの問題、まちづくりに関すること、大きなくくりですが観光の面、農業の問題です。買い物弱者と伝統文化の継承については関連するものは少なかったのですが、大事な問題ですので独立させました。あとはその他ということでもくくりました。
- 会長； だいぶ工夫したようですが、ほかにありますか。
- 委員； これから住みよい村上のまちということで、若い人たちや働いている人たちなどに活躍してもらわなければダメだという考え方が、非常に多く、たくさん載っているのですが、活力というのはもう少し年齢層を考えていくとお年寄りの方たちへの働きかけ、働いてもらう対策というか、村上に貢献してもらおうことができるようなことはどの辺に位置づけをしようとしていますか。65歳以上の方は、税金は結構納めていると思います。その辺のことを考えたりしないと高齢者の方は切捨ててみたいと思われる大変困りますがどうですか。
- 事務局； おっしゃるとおりだと思います。私どもの観点から落ちていた部分だと思しますので、具体的な事業のところに盛り込んでいきたいと思えます。
- 委員； 地域活力の回復とありますが、この中に地域経済の活性化等についての意見が入っていないと思います。やはり地域活力を回復するためにも地域経済が活性化しなければ住みよいまちもつukれないわけで、その辺も入れていくべきではないですか。商店街の活性化にしてもどうやったら効果が出るか、そういう観点を入れていかないと、ただやりましょうと行政の財源だけでやるわけにはいかないと。やはり地域経済の活性がなければダメだと思しますので、その辺のことをこの中に入れなければならないと思います。

もう一点、農業の項目がありますが、漁業も入れておいたほうがいいと思います。

会 長； ほかにございませんでしょうか。

委 員； 公共交通、交通弱者とありますが、例えばスーパーや病院、駅などがバラバラにあり、公共交通をどうしようかという大変難しい問題です。弱者が利用しやすいようにまちを集約させるのか、公共交通をやりくりしてほかに行かないように一本化するような、そういう考えはありますか。

事務局； 公共交通は当課で担当しておりますが、空白地域を重点的にデマンドタクシーということで回っております。荒川地区は非常に使っていただいているわけですが、山北・朝日地区においてはそれほど伸びていません。その方策等については、法律に基づいて走らせていますがその状況等見まして、タクシーがいいのか小さいバスがいいのか検討したいと思います。4月からは荒川地区と神林地区も買い物対応にも実験してみようということで走らせます。ほかの地区はどうするのかということですが、すべからく買い物対応でタクシーを走らせるようになりますとタクシー事業者が万歳してしまいます。どこかで集約して巡回バスみたいな恰好で回すというようなことも必要なのではないかと思います。どこに買い物に行くのかという、個人の思いと公共的な思いがうまく一致すればいいのですが、その辺もあります。山北地区から村上方面に向かって定期バスを走らせていますが、さっぱり利用がない状態でありますので、今後は、学生を持つ親のことも考えて思い切った料金設定も検討したいと考えております。また、今までは幹線上にバス停があって、バスが乗せていくという時代でしたが、これからは集落・町内を回って乗り降りをさせていく時代だろうと感じています。その辺も踏まえてこれから検討していきたいことと、ここに載っている方策にも十分関連しますので、二つの方向で進めていきたいと思えます。

会 長； 公共交通の協議会でも大変な課題を抱えています。高齢者の支援とか交通の面でも話がありましたが、ほかにご意見や質問ありませんか。

ちょっと振り返って申し訳ありませんが、今事務局で提案されたものにはここはもう少し強化していこうというようなことで、はっきりと謳っていない地域経済の活性化という観点からいったら、もう少しわかりやすく言ったらどういうことになりますか。何かいい案はありませんか。

委 員； 以前と違いまして市街地の中でも商売ができないといえますか、空洞化しているわけです。郊外へ郊外へと大型のスーパーができていますからだと思います。これを取り戻すといえますか、空洞化をどうするかということになりますと、市街地に戻ってきてもらいたいということかと思えます。今は人形さま巡り等がありますが、よりいい策はありませんか。

会 長； 山辺里地区はどうですか。

委 員； 山辺里は今T P Pがどうなるかで、変わってくると思いますが、良くなるのか悪くなるのか分かりません。活性化というのは言うは安しですが、実際何十年もそう言いながら人口が毎年減ってきています。若者が定住で

きない環境にあるというところが一番問題なのではと思います。その中で幸い、山辺里地区は合併当時からは増えています。増えたのは山辺里地区が努力したのではなく、住宅事情の関係でアパートができて増えたことにあります。

村上也働く場所がなく、子育て環境が悪いということで、それをどう解決するかということが一番の問題でないでしょうか。思い切って10年村上に住んだら土地を無料になど、そういうことをやって魅力をつくることで活性化しなければ、ただ、来てください、定住してくださいと言ってもたぶん難しいと思います。

委員； 空き家の解決方法というのはどういう方向に向かっていきますか。例えば商売をやってもらうように持っていくのか、住んでもらうために持っていくのか二通りあると思いますが、どちらのほうに向いているのですか。

例えば、空き家に住んでもらう人には、村上是いいところだから来てくださいと言ったって、ある程度市の予算で100万までは空き家を直しますなどの予算組みをしないと難しいと思います。思い切って予算組みし、具体的にやっていかないと、空き家バンクだと言って登録しても、なかなか解決しないと思います。

会長； 具体的に空き家バンクで定住している方はいらっしゃると思いますが、どの辺まで市がサービスをしているのかちょっとわかりません。ホームページに載せて登録しているのはわかりませんがどうでしょうか。

事務局； 市の全体の企画は政策推進課が担当しています。空き家バンクに住みたい人がホームページを見て、空き家を持っている方と交渉することになっております。例えば、委員がおっしゃったように100万円を補助して修繕するようなことは一切ありません。新発田市においては、若い世代で一戸建て住宅を建築するとなると100万から150万補助するという施策があります。全国を見ますと300万、500万というところもあるようです。村上市は残念ながらそういう制度がありませんので、みなさまからのご意見がもしそういうのをやるべきでないかということであれば、具体的に施策として出していただければ心強いと思います。

委員； インターネットを使って仕事をする人は、会社はどこでもいいということを知ったことがあります。要するにパソコンで発信するわけで、家賃が安くて住みよいところだったら来るのではないですか。目の前で商品を並べて商売やっているわけでないし、環境のいいところで家賃の安いところであれば商売になるわけです。

会長； インターネットで全国に発信したら、やっぱり村上だという策は何ですか。杉原にこういう家があり、お城山に近くて駅もスーパーも何分で行けるしというのは出ています。リフォームするのに補助がありますなどしないと来ないのではないのでしょうか。

委員； 10年住んでもらう保障をとってはどうでしょうか。年をとると、どこかに移住して環境のいいところにも、最後に死ぬときは田舎に戻ってくるという話です。10年住むと自分の親戚がたくさんいるところに戻るよう

- です。最低10年住んでくださいというのはどうでしょうか。
- 会長； もうすでに具体的な方策まで入っていますが、空き家の活用で、今は住んでもらうということですが、さっき言ったように店を出すとか何かに活用していく、駐車場という話も出ていましたし、両方の面からこれはいいのではないかということを出してください。
- 委員； まちづくりの観点から考えていかなければならないと思います。くくりとしては、環境のまちづくり、社会のまちづくり、経済のまちづくりその大きなくくりを三つにして、その環境の中の課題点、社会的な問題点、そういった区分けをしていくと、その先に住民たちが見ても非常に分かりやすくなっていくのかなと思います。議論した人たちはこれを見ればすぐわかりますが、全く議論に参加していない一般住民が、これを見たときに少しわかりにくいかなと思います。そのあたり空き家バンクはどうか、環境と連携しているのかははっきりさせるといいのかなと思います。
- 委員； 住みたいまちで結構いいランクに入ったことがありました。
- 会長； 環境、社会、経済三つの観点にしたほうがわかりやすいと、ここに課題とか方策などを六つ出していますが、これを三つにするとしたらどの項目は経済で、どの項目は社会で、どの項目は環境でくくられるか、事務局の案ではどうなりますか。
- 委員； 資料1で黄色のマークが付いているこれだったら三つに仕分けができるのではないですか。住民がどうしたらわかるのかです。
- 会長； 先ほど経済の面が出ていないというのはどういうことですか。
- 委員； 資料2のところそういう内容がないわけです。
- 委員； 経済の活性化というのは難しいと思います。全国的なことであって村上市が経済を活性化してまちづくりしようというのは無理だと思います。今言った三つの部分ということであれば環境づくりから入って行って、きれいなまちだということから入ったほうが、経済がいいところだよと言うよりも自慢できます。ただ来てくれとか住んでくれということよりいいのではないですか。
- 委員； そういう視点も入れていかないと、特に行政はそういう文言が入っていないとなかなか動かないような気がします。環境とか子育てとかは一番分かりやすいし、入れておかないと行政としてバランスが悪いのかなと思います。
- 会長； 非常に幅広くなりまして、観点が広がったのでご意見が出しにくいと思います。経済であれ、福祉であれ、みんないろいろと錯綜しているし、しかも村上市は確実に人口が減少しています。では、何とかしてストップをかけるか遅らせるか、手を打たなければならぬということも一致しています。ここでは、地域の活力の回復ということが一番大事にして、まとめてくれました。その辺についてはそれでよろしいでしょうか。
- 委員； 村上市に住んでいる方、もしくは村上市以外で村上市に興味を持って定住しようという方々も、どういう視点で見るのだろうかと思ったときに、一つはご高齢の方、退職した方に焦点を当てた施策。それから働き盛りの

方は、職場がどうなっているか、遠隔地や新潟市内へもこのような交通手段があります。

それから子ども世代等々についてもこのようになっていきますと、高齢の方、働き盛りの方、それから小学校、幼稚園も含めてそんなくくりでのまちづくりに対してこういう制度がありますよという視点でまとめるのはどんなものでしょうか。共稼ぎが増えてきて、保育園に預けて働きに行く方などは、村上市と新潟市や長岡市などの子育て支援や医療費の補助について比較をします。そういう比較の中で競争にさらされていることを認識しながら、その中でも環境も含めておいでいただく際の条件整備がいいですよとアピールしないことには、地域に定住したり活力を生むことにはならないのではないですか。焦点を絞った形で討論することが必要だと思います。

会 長； 絞る観点は年齢別というか高齢者、いわゆる働き盛り、それから子育て支援、そういう観点によってまとめたらどうでしょうかというご意見です。先ほどは環境、経済、社会から見ましたが、観点をまとめるにしても村上のことをよくわかってもらって、しかも来てくれるような、定住するような、それにはどれがいいのか、まだ意見はあると思いますがいかがでしょうか。

委 員； 岩船は働く場所がないということで人が来ません。リハビリテーション大学もありますが、学校へは来たいけれどアルバイト先がないからということです。これを何とかしなければならぬと思います。

会 長； 漁業をたくさんやれと言ってもダメですか。

委 員； もう漁業の時代ではありません。いかに安いものを高いところへ持って行って売るかという商売ですから。それから子育てですが、どこへ行ってもこの子育てということに対してはいいことを言います。それをどうするかということで、これからみなさんで考えなければならぬことです。婚活問題もそうです。

会 長； 働く場所については、全地区がそうだと思いますが、なかなか分かっているができないということで、6次産業化やいろいろな策を練っているのですが、今のことを改めて頭に置きながら、まとめていきたいと思います。

委 員； ほかの市町村の子育て支援などがどうなっているかを把握して研究すべきだと思います。

会 長； 粟島浦村、関川村もありますよね。団地を作って呼んでいるところもありますし、子どもを受け入れて、人口を増やそうとしている粟島浦村みたいなところもあります。

委 員； 社会、経済、環境と三つのキーワードでいろいろと枝をつけてやったらどうかという意見の中で、本当に言いたいのは人口減というのはやむを得ないと認めて、減っていく中でどう考えたらいいかということだと思います。減らないようにどうすればいいかではなくて、減っていく中でどうすればいいかだと思います。一番最後に残るのは地方自治体ですから自治をしっかりと高めていくことが大事です。つまりこういう会議で公共サービ

スのことが話題になりますが、いろいろなサービスをしていたら、人が集まるのかということ、私は違うと思います。最終的には自治に関わる人だと思えます。住んでいていいまちだ、みんな仲もいいしというような質の高まりが、外部から人を呼べると思えます。そういう大きな力になって、持続可能な社会構造ができるのではないかと思います。

委員； 村上のことについて、よその人たちの見方は悪くないと思えます。村上ががんばっているねとか、例えば町屋の人形さま巡りとか民間の人たちががんばってくれています。そういういい面がたくさんあります。確かに環境、社会、経済も大事ですが、いいものをたくさん持っているのだから、そのいいところをもう少し伸ばしたらどうでしょうか。これがよくないから直さなければならないというところに視点を当てていくと本当にやることが見えなくなってくるのではないのでしょうか。特に村上地区ですから視点を狭めてやったほうがいいのではないかと思います。

空き家の活用にこういういい面を生かすことができないのでしょうか。不十分な面もあると思えますが、いい面を伸ばしていくようなまちづくりを求めたらどうかと思えます。

村上地域の協議会は一生涯懸命にいいことをたくさんしていると思っています。おじぞうさま巡りとか些細なことでもどんどん来てくれます。上町の公園も人がたくさん集まって来ます。ああいうポケットパークみたいなものがあると人がそこに集まって来て、そこにテントを建てて物を売ることができます。市場では安い、消費税がかからない買い物ができます。100円、200円で農家の人たちが作ったものを売ってくれます。そういういい面をたくさん考えてもっと伸ばしていく方法を考えていかなければならないと思えます。

会長； すばらしい観点だと思います。いい面を見つけてそれを伸ばしていく、広めていく。枠はいろいろあるかもしれませんが、その中のいい面を見つける努力をしていこうということです。資料1の赤で囲んだあたりにヒントがたくさんあるのではないかと思います。

委員； いろいろな方策や、宣伝する方法はあると思えますが、村上市に住民税を納めてもらう人を増やさなければ、だんだん先細りになっていくと思えます。一過性で人を呼んだって、村上に住んでくれるような幸せなまちにしていくという面がなければ、いくら動員したって難しいのではないのでしょうか。山辺里地区のまちづくり協議会でもいろいろなイベントをやるうとしていますが、地域に根差した地域の人を中心にやるうとしてしています。将来、子どもたちも何人かは残ってくれるようになるだろうということで取り組んでいます。

会長； 山辺里地区のまちづくりは、山辺里地区に住んでいる住民が主体として、住民が楽しく生きていける活動を進めている。極端に言うとそれが一番だと思います。また村上地域だと地蔵さま巡りにしても、人形さま巡りにしても、屏風まつりにしても、よそからたくさん人が来て、経済効果も上げていると思えますし、村上のよさがあちこちに分かってもらえると思えます。

そのことは、村上でそこに生きている人、生活している人が、村上はいいいところだなと自分で分かる場合と、よその人が来ることによって気づく場合があります。住みよいまちを作ろうと考えていますが、あまり極端にならないで考えたらどうでしょうか。

自治を高めるとか、高い理想を持って、理念を持ってやっていくことは、大変大事だというご意見も出ましたし、お年寄りから子どもまでのことも出ました。

それでは一旦、休憩します。

【休憩】

会長； 再開します。

前半は意見をたくさん言ってもらいましたので、これから後半はある程度確認しながらまとめていきたいと思いますがよろしいでしょうか。

一同； 異議なし。

会長； それでは、発言した人から順番にもう1回、今までの話なども含めて話してもらいたいと思います。人口の減少や少子高齢化についてはみなさん共通で認識しているので、村上の活性化を図るというために、環境、社会、経済の三つの観点からまとめるのが大事だということに付け加えることがあったらお願いします。

委員； 事務局の案を三つに絞り、この中に枝をつけて下におろしていくということです。この中からどのような方策が出てくるのか、どういうことを考えていかなければならないのかということイメージしました。それともう一つ本当に言いたいのは自治を高めていくことです。公共的サービスだけを追い求めていくのではなくて、自治を高めるのは全然理想的なことではなく、その中にまちを作ればいいだけの話です。

会長； それから地域経済のことも発言があったので、できたら雇用のことも含めて観光や足りない点を話してください。

委員； 私が特に経済という点を言ったのですが、どうして村上という地域を活性化していくのか。そのためには行政だけでなく民間活力も高めていくような努力をしていかないとダメなのではないかと思いました。

会長； 住みよいまちづくりというような観点から、若い人や高齢者とか子どもとかという年齢層に分けて考えたらどうでしょうかというご意見でしたが、今までの話なども含めて付け加えることはございませんか。

委員； 三つの層に分けて具体的な提案をしたらどうかということでありました。もっと裏側にあるのは、これまでの地域審議会の提案が、ホームページ等で公開したりしていますが、それを活用してもらわなければ意味がないだろうなと思います。活用してもらうにはどういう視点でまとめ、アピールしたらいいのか。各層や個々の暮らし向きに、村上市はどのような方向性を示しているのかということを見やすい形で提案したらいいのではないかという意味でお話しをしました。

会 長； それでは、働く場所についてもいろいろ出ましたが、働く人も含めて、先ほどまであまりそういうことについて発言がなかったのですが、どうですか。

委 員； 以前は工業誘致の話も出たのですが、今は工業誘致というのは、どこ自治体も大変だという声がありまして、誘致に力を入れてもなかなか難しいと思います。一番大事なのは子育て支援で、子どもは3歳までが大変だと思います。3歳未満の子どもがいる家庭では、働きたいけど働けない。10か月、8か月からでも預けるところがあればいいですが、要するに3歳までの子育て支援を充実させてほしいということが一番です。村上には待機児童はいないようですが、3歳までと医療保育があれば、安心して若い人が村上から離れなくてもいいのではないかと思います。

会 長； 岩船に働く場所を設けるにはどうしたらいいか、市ではこうしてほしいというようなことがありましたら、まちづくり協議会のことでもかまいません。お願いします。

委 員； 働くところがないというのは一番です。働くところは行政も考えてほしいと言ったのですが、岩船は電気屋も100人もいたスキー工場も、そういう大事なところなくなりました。乗り捨てスキーを作る工場がいいから働くところがほしいわけです。

会 長； それでは、農協含めて、T P Pの話も盛んですが、村上もT P Pの影響があるようですがこれから先、どんな方向に向いているのか少し教えてください。

委 員； T P Pの話はさっきちょっとしましたが、農協としてははっきりしていません。農家の人が野菜を作らなくて買っています。有害鳥獣の被害もあります。一方で余るほどつくってよそに配って金にしない。その辺のところを考えまして、作れば売れるという仕組みを作っていきたいと思っています。買い物弱者と言いますが山村と言いますが田舎の方ばかりでなくて市街地でも郊外のスーパーに行きたくても行けないということもありますので、すぐにはできませんけどもどこかに直売所を作って、スーパーから漏れたような人たちに来てもらえればと思います。T P Pのことにつきましては、昨日4,000人規模の集会在東京であり、その後デモ行進をしましたが、おそらくはT P Pの交渉の参加に入るのはないかと思っています。やはり農業者を保護するということではなく、多面的機能と言いますか山の田んぼもあって平野の田んぼもあって、それぞれの機能を生かせればいいと思います。

会 長； 不十分な面よりもいい面を伸ばすというご意見をもう少しお聞かせください。今までの話の中から具体的な方向を出してもらおうとこれからの方向付けや具体策に生きてきますので、遠慮しないで出してください。

委 員； いいものを伸ばしていくということによって、そこから波及していく波及効果を期待したほうがいいのかと思います。例えば、医療の部分が不十分だという話をよく聞きますが、いい面を伸ばしていくことによってそれらを少しでも克服できる波及効果があってくればいいと思います。住

民が安心して住んでいけるためには、基本的なことを大事にしなければダメだと思います。水とか、食べ物とかこういうものを安心して安全で、あるものを生かして、この地域に来れば安心だよというふうなことを全国にアピールしたほうがいいのかと思います。

新潟県は自殺率が非常に高い、全国的にも上位にあると聞きました。村上也結構あるそうです。それをしないようにしようとか減らそうという考え方で取り組みをしたってなかなか難しいのではないかと思います。それよりも保育園が充実しているという声が、もしもそういう話が聞こえていけば、どうせ新発田市へ通うのだったら、村上へ来てくれる人も増えるかもしれません。村上ががんばっているという声を、いい面を伸ばすことによってアピールできないかと思います。

会 長； 最後に感想でもいいですが、一言お願いします。

委 員； 地域審議会で行っていることと、まちづくり協議会というものはどちらも村上のことをまちづくりということを考えていますよね。青年会議所でもまちカフェを行っていますよね。みんな同じことをばらばらに行っていると思います。それを一つのところでやっていくともっといろんな意見が出てくるのではないかなと思います。

会 長； ありがとうございます。まとまりませんが、これで終わりにしたいと思いますがよろしいでしょうか。

それでは、(3)その他ですが、みなさんから何かございませんでしょうか。事務局からありますか。

事 務 局； 特にありません。

4 その他

会 長； 4のその他について、連絡等事務局お願いします。

事 務 局； 特にありません。

会 長； 最後に副会長から閉会のごあいさつをお願いいたします。

副 会 長； 今日は足もとの悪い中お集まりいただき、また活発なご意見ありがとうございました。来年度また協議することになります。今日はありがとうございました。

5 閉会(15:45)